

# 令和6年度全国学力・学習状況調査

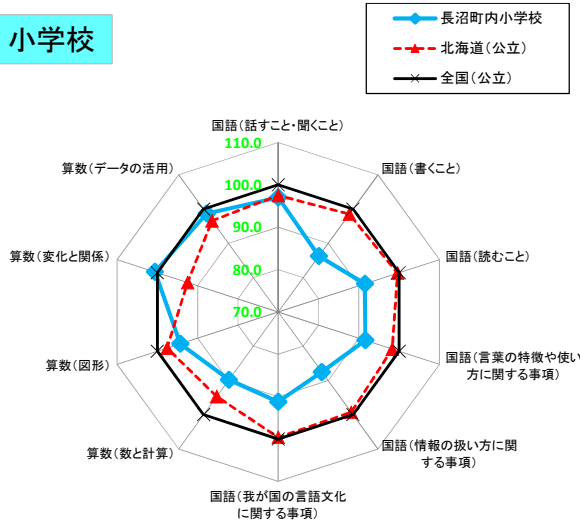
■長沼町内の状況及び学力向上策（小学校数：1校、児童数：50人）（中学校数：1校、生徒数：80人）

## 【教科全体の状況】

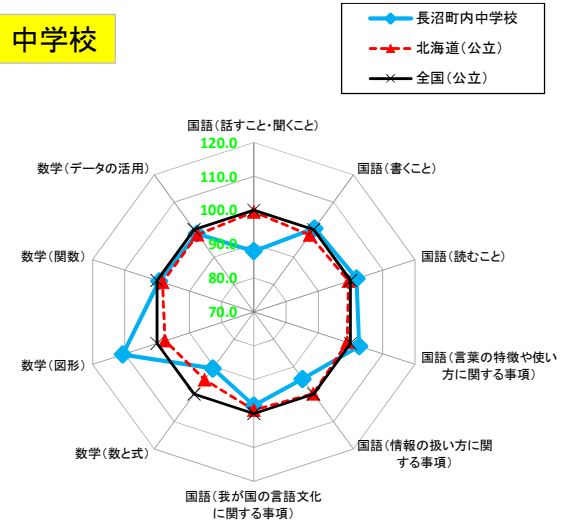
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	62	57
算数・数学	60	52

### 小学校

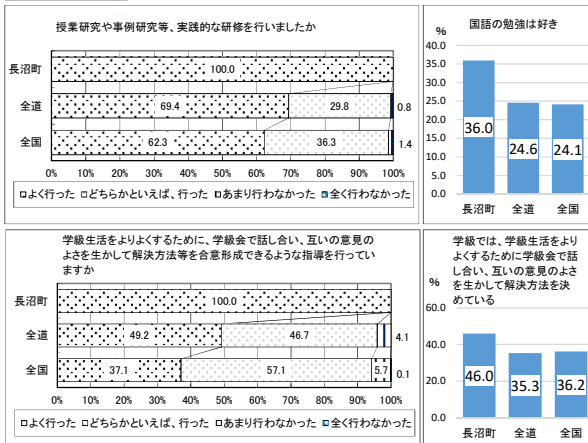


### 中学校

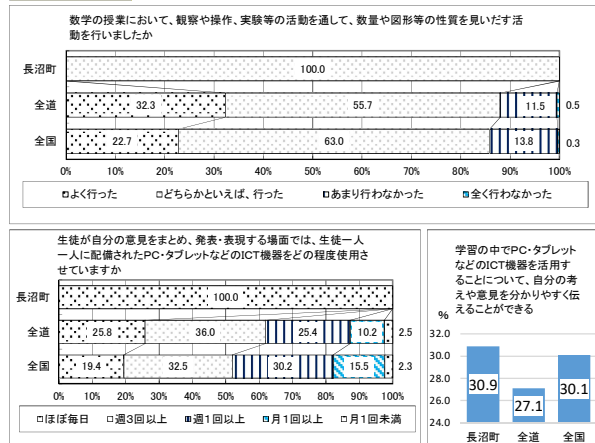


## 【質問調査の状況】

### 小学校



### 中学校



## 【上記結果の考えられる要因の分析】

### 小学校

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の勉強は好きと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を合意形成できるような指導を行ったことにより、学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

### 中学校

数学の授業において、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行ったことにより、生徒の学習内容の理解が深まり、数学の「図形」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

生徒が自分の意見をまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させたことにより、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

## 【長沼町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育推進会議における9年間の見通しをもった教育活動全体のカリキュラムの充実に向けた検討など、小・中学校が協働した学習指導の改善・充実
- ◎ 1人1台端末とクラウド環境を効果的に活用した授業改善の推進(端末の持ち帰りによる学びの機会の拡充を含む)
- ◎ 教員の指導力向上に向けた研修支援の充実
- ◎ 学習支援員やALTの配置及び検定料助成などによる子どもたちの学びを支える教育の推進